

津
高

津高校だより

平成30年度 第7号 編集・発行 三重県立津高等学校

謹賀新年 本年もよろしくお願いいたします ~2019 それぞれの未来に向かって。

年が改まり、大学入試センター試験も近づきました。昨年末には1、2年生が3年生の激励会を開催、これから始まる受験に向けて心からのエールを送りました。一方11月には生徒会役員も改選され、1年生が執行部の中心となりました。年度末が近づき、生徒たちは、一步先の未来に向かって動き出しました。(立会演説会:2018年11月)



企業（トヨタ自動車）との連携

「ミライ」が津高へやって来た！



TOYOTA 自動車様の「理系女子育成プログラム」と協働し、12月25日に「燃料電池の制作と性能テスト」の実習をSSH活動の一環で行い、約40人の生徒が参加しました。

取組は2回目で、前回(11月)は講義でしたが、今回は、実際に燃料電池車のミライに試乗したり、グループで燃料電池車を作成したりと、動きが多く、工学分野、自動車分野に興味・関心を持つ多くの生徒が、自分たちからトヨタの技術者へ質問しながら熱心に取り組んでいました。生徒たちからは、「この日を楽しみにしていました。」「燃料電池車の質感、肌触りが良い。」「自動車の仕組みとスポーツカーに興味があります。」等の感想が寄せられ、自動車マニアの生徒が多いことも再発見できました。



実践交流で友好深める~SSH台湾研修

12月12日~15日に1、2年生12人がSSHの台湾研修を行いました。高雄市にある中山高級中学を訪問し、授業体験や研究実践交流等を通して、科学的な視野を拡げるとともに、台湾の高校生との友好を深めました。

事前研修の成果を試す



1日目(13日)は交流校の生徒や教職員のみなさんから温かい歓迎を受けました。生徒たちは事前にインターネットで現地の生徒たちと交流を行い、円滑に活動を始めることができました。午前中はそれぞれが実際の授業を体験しました。午後はお互いの探究活動の成果を発表し、英語による質疑応答を行いました。生徒たちの知的な関心は高まり、活発な質疑が行われました。

2日目は学校周辺でフィールドワークを行い、河川的环境汚染対策の現状や都市政策について学びました。そして、学んだことをグループで共有したうえで、課題を設定し、解決方法を発表し合いました。



国際的な活動を行うための基礎を体得

3日目の最終日には、中山高級中学の生徒と義守大学医学部を訪問し、施設見学の後には、DNAの抽出実験を他の台湾の中高生とともに行いました。講義、実験とも英語が使用されましたが、津高生は打ち解けた雰囲気の中で、十分英語で意思疎通しながら、積極的に実験に取り組みました。学校を離れる際には、両校生徒がプレゼント交換を行い、今後も継続して、お互いの学習成果を交流することを確認しました。生徒たちは、国を越えて課題に取り組むうえでの基本的な姿勢を体得できました。



生徒も教職員もみんなで本に親しむ 青空図書館

津高図書館は図書文化講演会や朗読会、校内ビブリオバトル等の取組を精力的に行っています。さらに今年度は新しい企画として、12月13日に「青空図書館」を開催、多くの生徒、教職員が参加しました。

「青空図書館」とは、本に親しむという目的で、文字通り、青空の下で、解放された気分の中で、気に入った本を読んでみるという取組です。当日は、昼休み、中庭に移動図書館が設置され、昼食に出てきた生徒たちは、思い思いに陳列された本を手に取り読み始めました。その場で図書の貸し出しも可能で、10冊以上が貸し出されました。図書館をあまり利用しない生徒が来てくれたこと、先生と生徒が本の話で盛り上がってくれたこと等、収穫の多いイベントになりました。



他校の生徒と切磋琢磨 国際科学技術コンテスト強化講座



理数分野で優れた意欲や能力を持つ生徒が集まり、切磋琢磨することで、さらに力を伸ばすという目的で、生物の分野の講座が12月26日に本校で開催されました。県内の県立、私立高校の生徒・教職員、さらには教員を目指す大学生、約40人が参加し、グループでの実習や協議を行いました。講師の東京理科大教授、竹村政春先生の指導の下で、DNAに関する実験を行いました。竹村先生は、コンテストで成績を上げることだけでなく、実習を通して、研究者の倫理や協働して粘り強く取り組む大切さを強調されていました。

理数分野で優れた意欲や能力を持つ生徒が集まり、切磋琢磨することで、さらに力を伸ばすという目的で、生物の分野の講座が12月26日に本校で開催されました。県内の県立、私立高校の生徒・教職員、さらには教員を目指す大学生、約40人が参加し、グループでの実習や協議を行いました。講師の東京理科大教授、竹村政春先生の指導の下で、DNAに関する実験を行いました。竹村先生は、コンテストで成績を上げることだけでなく、実習を通して、研究者の倫理や協働して粘り強く取り組む大切さを強調されていました。

家庭科での租税教育を評価～津税務署表彰



本校では2年前から、主権者教育、消費者教育の観点から、1年生の家庭科の授業において税理士による租税教室を取り入れています。本校の取組がきっかけとなり県内の高校にも同様の活動が広がりました。11月6日には、租税教育への貢献が認められ、津税務署より感謝状とトロフィーをいただきました。

部活動等の成果報告

陸上部

東海高校新人陸上競技大会

女子：400m 1位 魚住りり

200m 2位 同上

男子：5000m競歩 4位 山本泰成

バドミントン部

三重県高校バドミントン秋季大会

男子学校対抗の部 5位

卓球部

三重県高校新人卓球大会

書道部

みえ高文祭書道部門 特選 竹内凜

国際高校生選抜書展（書の甲子園）

団体優勝（東海地区）個人も多数入賞

新聞・写真部

全国高校新聞年間紙面審査賞 奨励賞

ビブリオバトル県大会

準優勝 玉野茜絵

生徒保健委員会

県学校保健会「優良保健委員会」

県高校英語スピーチコンテスト

2位 平野百香（東海大会出場）

佐佐木信綱顕彰歌会（高校の部）

鈴鹿市教育長賞 永合桃子

「なつかしい 屋上へ向け

足音が 方言とともに

駆けあがっていく」

探究の成果を発信！～SSH各種発表会

今年度の探究活動の締めくくりとして、以下のような発表会を予定しています。



SSH児童生徒研究発表会

- ・2月2日（土）午後：本校体育館
- ・口頭発表、ポスター発表（2年生）
- ・小中学生の発表も予定

SSH1年生ポスター発表会

- ・1月24日（木）午後：本校体育館